

日中青少年学生交流

「互いに理解深めたい」

日女体大付二階堂高校
立教女学院中学・高校

ダンス部が参加

芸術文化やスポーツを通じて、日本と中国の若者が交流を深める「第16回日中青少年学生交流大会」(毎日新聞社、毎日エデュケーション、中華全国青年連合会主催)が24日から28日まで、中国・北京市で開催される。今回、日本女子体育大学付属二階堂高校と立教女学院中学・高等学校のダンス部が参加する。

【松田嘉徳】

学校設立当初からダンス部がある二階堂高校ダンス部(顧問・野澤澄枝教諭)は、過去、全国中学高校ダンスコンクールで優勝、上位入選するなどダンスの伝統校で国際交流にも力を注いでいる。

生徒たちは訪中を目の前にして、週5日、練習に励んでいる。「お互いに人を敬い、人の気持ちを考えて行動する」をモットーに野澤教諭をはじめ、卒業生らも加わりきめ細かく指導をしている。

今回の公演では、4作品を披露。小野寺麻佑主将は「日本と中国には、いろいろな問題がありますが、ダンスを通して、言葉では伝え切れないことを体で表現して、心が通じ合うようにしたい」と話している。

立教女学院高校ダンス部(顧問・渡辺由美子教諭)は、08、09年にオールジャパンダンスフェスティバルと全国ダンスコンクールで

ダブル連覇したのをはじめ、数多くのタイトルに輝く強豪校。渡辺教諭は「最後まであきらめない心、情熱を持って壁を乗り越える心をダンスを通じて指導している」。

鹿島千裕部長は「中国の同世代の人たちとふれあって話し合いたい。ダンスで心を通わせ、お互いに理解を深めたい」と抱負を語った。



本番を前に練習に励む立教女学院のダンス部員

横山さん 年越し演奏会

大晦日 生誕200年・リストなど

作曲家のショパンとシューマン生誕200年に沸いた2010年。世界中で2人の名曲が演奏された。新たな曲が演奏された。新たな曲が演奏された。新たな曲が演奏された。

この3人の作曲家の作品を聴きながら新年を迎える魅力的な年越しコンサートが31日、新宿区西新宿3の東京オペラシティコンサートホールで、クラシック界のさ

本番前に練習に励む日本女子体育大付属二階堂高校のダンス部員

